



# のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 29 年 2 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



昔懐かしい福笑いを楽しむ子どもたち（まつなみキッズセンターを会場にて）

## 第 47 号の内容

- 12 月定例会議の一般質問 . . . . . P 2 - 5
- 12 月定例会議・傍聴席から . . . . . P 6 - 7
- 11 月会議・議会組織 . . . . . P 8 - 9
- 12 月定例会議の議案質疑 . . . . . P 10
- 常任委員会レポート . . . . . P 11
- 議会活動と編集後記 . . . . . P 12

# 第47号



# いっぱん質問

12月定例会議の一般質問

## 問 新年度予算編成と主要事業は

答 新庁舎の建設や衛生センターの改良を行う

**問** 新年度の予算編成方針と主要事業は。  
**答 町長** 地方交付税の減収を見据えながら、健全で持続可能な財政運営方針を示した。主要事業は、ハード面では、役場新庁舎の建設に着手し、老朽化した柳田、内浦庁舎の再整備の基本構想、衛生センターの改良工事、農業基盤整備、生活基盤の道路網の整備、小木地区で観光交流センター（イカの駅）の整備、ソフト事業では、創生戦略や総合計画に基づき、一次産業の活性化や集落支援、定住促進や子育て支援を取り入れる。



榑原 安弘 議員



※基盤整備された農地（笹川地内）

## 問 被災者台帳「被災者支援システム」の導入と適切な運用を提案！



田端 雄市 議員

**問** 常に精度を高めることが求められる防災対策として、災害時に被災者の状況を的確に把握し、迅速な対応が可能となるシステムの導入とその後の適切な運用を求める。  
**答 町長** 被災者支援システムについては、発災直後から被災者の救護支援を実施し、また、迅速かつ的確な復旧・復興を行えるように関発したものであり、りさい証明書の交付などがスムーズに行えるとのことである。

町としては、現在、システムのデモサイトを体験するという段階で、導入市町を参考に検討したい。また、導入した折には、運用がスムーズにいくよう職員研修の徹底を図りたい。

## 問 道災害発生時における避難所運営について、その整備状況と対応は



※能登町防災訓練の様子

**問** 内閣府のガイドラインには、避難所運営マニュアルは、市町の職員以外にも分かるような整備が必要とあるが、町の対応は。  
**答 町長** 平成25年に県の策定方針に基づき作成したマニュアルがあるが、古くなってきたおり、今後、新しいガイドラインや防災訓練等の成果を踏まえたい。

**答 町長** 職員の行動については、地域の住民の生命、財産を守る役割を担うのが責務である。マニュアルに従い、その通りできるか、訓練を重ねる必要があると考える。また、避難所運営において、地域住民と町職員の連携も重要となる。地域の自主防災組織の協力もいただきたい。

## 問 児童生徒の部活動移動の状況は

答 公式試合の場合は公費負担で業者に依頼

**問** 平成28年10月にとり山海道（七尾市内）で、珠洲市の中学校野球部マイクロボスの衝突事故があり、部活動の移動に対し問題になっているが、当町の児童生徒の部活動移動に際し、生徒の安全確保体制はどのようなになっているか。

**答 教育長** 本町では、部活動移動に際し、県大会などの公式試合への参加の場合には、基本的には、公費負担でバス業者に依頼している。練習試合等の場合は、レンタルバスや自家用車を保護者、教員が運転している。

今年度においても、表彰候補者として俎上に上がった方もおられたが、まだまだ現役で活躍されている方やこれからも活躍されるであろう方々であつたため審議会の答申を見合わせた。そのため、毎年の表彰式ありきで審議するのではなく、真に表彰する時期になつた方が現れた時に表彰式を行うたい。

今回の珠洲市のバス事故を受け、本町の自家用車等の使用に関する要綱の周知徹底と原則保護者や教員が運転しないように、参加の是非を含め慎重に判断するよう指導していきたい。

## その他質問

**問 町顕彰条例について** この条例は、町の振興発展に寄与したものに





市濱 等 議員

問 中型イカ釣り業の環境が悪化しているがその対策は

答 県、漁協と協力し関係機関に働きかける

問 伝統あるイカ釣り漁業の環境が再び悪化している。昭和40年代から北方領土問題、200海里問題と今回の状況に、漁業に従事する関係者は頭を痛めている。国の関係機関に要望活動も必要ではないか。

答 町長 日本海に面する6県の水産関係者が、連携を図り水産庁ほか、国の関係機関に働きかけ、現在は、EEZ(排他的経済水域)に進入している漁船は確認されていないが、来春以降も懸念されるので、町も漁業関係者、県の水産課等とともに働きかける。

問 イカ釣り漁船が老朽化し 業態が危機的状況だ

答 農機具、車両と同じで当事者負担だ

問 当町の基幹産業、イカ釣り漁業の船舶が老朽化している。一隻6億円も必要で一事業者では負担が大きく、存続が危ぶまれる。国県町で船舶を建造し、運営管理を漁業者に委託管理する政策は出ないか。

答 町長 他産業との公平性を鑑み、不公平が生じると懸念される。漁船も農機具、車両と同じく事業者負担だ。船舶免許は航海海域、総トン数で区切られており、細分化は難しい。免許講習会等は、地元開催を要望する。

その他質問 問 人口減少が止まらない。帰化民を呼ぶ政策は出来ないか。

答 町長 外国人研修生を町の人口減少対策として、帰化民とする方策はないか。

答 町長 外国人研修制度はわが国の国際協力、貢献として、その国の経済発展を担う人材育成であり、制度上からも困難だ。



※新造船竣工の写真

問 新庁舎建設は地元産材での木造で

答 建物本体の構造は鉄筋コンクリート造り

問 将来予想される人口減を考えた時、庁舎の規模や建設費等の試算はどのように検討されたか。

答 町長 人口減を踏まえ必要最小限の面積で平成32年の開庁時に無理なく業務が可能なる面積とし、国の定める庁舎面積積算基準を踏まえて積算している。

その他質問 問 来春の町長選について

答 町長 合併して12年、町長は町民に「夢や希望」を与える施策がなかった。4選に向けて能登町を「こうしたい」「こういう町にしたい」と思いを率直に述べていただきたい。

問 宇出津港水産物加工処理施設について

答 3年後には約8千万円の売り上げを見込んでいる



向峠 茂人 議員

問 完成後10年ぐらいの見通しはどうかお聞きください。

答 町長 何分ゼロからのスタートであり、加えて町内に類似施設がないので、具体的な数字は難しい。指定管理候補者の申請書は3年間順調に収益を上げ初年度には新規従業員2名及びパート2名。2年目からはパート4名とする計画としている。

答 町長 宇出津港や能登町内で水揚げされる水産物を中心に、ブリ、ガンド、タイ、シイラ、タラ、イワシ、アジなどの一次加工を考えている。

問 ここでできた商品の販売先と売り上げ目標は。

答 町長 取引先は今現在、石川中央卸売市場と交渉を進めている段階である。販売目標については、3年後には約8000万円の売り上げを見込んでいる。



※宇出津港水産物加工処理施設

問 新庁舎の建物本体の構造は、災害時の防災拠点になることから耐震耐久性を重視した鉄筋コンクリートづくりで計画した。内装等の仕上げは、できる限り地元産材を取り入れる。

答 町長 新庁舎の建物本体の構造は、災害時の防災拠点になることから耐震耐久性を重視した鉄筋コンクリートづくりで計画した。内装等の仕上げは、できる限り地元産材を取り入れる。

(その他の質問者 河田 信彰議員)



# 第8回能登町議会 12月定例会議

平成28年12月6日に開会した第8回能登町議会12月定例会議は16日に委員長報告や採決が行われ、閉会しました。町長から提出された議案33件は原案のとおり可決され、陳情1件は継続審議となりました。

また、発委1件と発議1件、選挙1件が16日に追加日程で提出され、原案のとおり可決されました。発議1件については、「議会議案」として詳細に記載。

発委1件は、議会運営委員会の小路政敏委員長が提案理由を説明し、質疑、討論はなく、原案のとおり可決されました。可決された発委と発議及び選挙は次のとおり。

◎発委 第3号  
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について

◎発議 第5号  
日本海大和堆での違法操業外国船取締及び取締体制強化に関する意見書の提出について

◎選挙 第1号



選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の提出について

当選された選挙管理委員の方々

河崎 重宏（真脇）  
國分 雅史（宇出津新）  
松井 英芳（上長尾）  
坂東 裕（小木）

当選された選挙管理委員補充員の方々

豊若 幸紀（白丸）  
鍛冶 武司（笹川）  
佐野 勝二（宇出津）  
池上 正博（真脇）

また、鍛冶谷眞一議長と椿原安弘副議長の辞職が許可され、正副議長の選挙が行われました。結果、新しく向峠茂人議長、酒元法子副議長が当選されました。

## 「議案」

12月定例会議における議員提出議案

●要旨

能登半島の沖合（北北西約330km）には大和堆と呼ばれる漁場があり、中型イカ釣り船の漁場となっている。しかし、近年、この大和堆で外国船の違法操業が目立っており、今年も例年にも増して、小型の木造船で5t程度の北朝鮮船、500t程度の「かぶせ網の中国船」と見られる漁船が200隻〜300隻も日本のEEZ（排他的経済水域）内で操業している。衝突等の恐れから、釣り場を変える船もあり、本県中型イカ釣り漁業者にとつてまさに死活問題である。

つきましては、日本のEEZ内で違法操業を繰り返す外国船の速やかな排除について『排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律』に基づき

### 町民の声を募集

議会傍聴しての感想や意見、町政や地域社会の発展に関心がある方のご意見など多くの町民の声を掲載させていただきます。まずは、議会事務局までご連絡をください。お待ちしております。

電話番号 62-8540

## 「12月定例会議を傍聴して」

十郎原区長 新出 豊

区長会柳田支部（二十名参加）で、12月定例会議一般質問を傍聴いたしました。

最初に感じたのは、会場が大変暑いのと傍聴席が狭いのに驚きです。

尚かつ驚きは、議員席が全く見えないことです。発言者の声も有線テレビでは聞き取れるのですが、議場では小さく聞こえにくく、緊張感が伝わらないように思いました。また、当日は町長の出馬表明もあるというところで期待していましたが、質問者も答弁者も原稿にとらわれ過ぎて、迫りも活きもいまひとつで寂しく感じました。

先般テレビ番組で自分が官僚の頃、大臣の答弁書作りに月三〇〇時間使っていたとの話があり、「今や人工知能で答弁書も作る時代が来る、判断力までも」と話していたのが印象に残っています。

まず。人を得るものは、天下を取ると言いますが、長年町長を務められているわけですから、自信を持って原稿なしで夢を語ってほしかったと思います。

同じ傍聴者の意見から

◎執行と議会が円滑に住民に理解しやすい質問をして欲しい。

◎新庁舎建設にあたっては、傍聴席をもっと低くカメラ席は別に設けて欲しい。

◎マイクの声をもっと大きくならないか。

◎出馬表明はもっと夢を語って欲しかった。

◎新聞の見出しに大きく出るような特色ある政策を希望している。

◎議席の空席が寂しく映った。

◎自分たちにはできない

が、選ばれた人たちだからもっと勉強して町を元気にして欲しい。

◎夢も大事だけれど、身近なイノシシ対策をもっと強化してほしい。

平成28年の字は一番は「金」、二番は「選」で能登町でも関心のある字です。

国会のように、政権の取り合いや、なんでも反対ではなく本場に町の将来に向け、高齢化に対応した町づくりのビジョンを議論してほしいと感じております。

アイディアとヤル気で能登町を元気に、議会の活発な議論に期待しております。

## 熱きまで

### 闘ふ議場

### 寒に入る

彩雲

平成28年10月12日から3日間の日程で、総務産業建設常任委員会で高知県室戸市佐喜浜町都呂津へ管外視察してきました。

まったく、黒潮とはよく言ったものだと思心する。マイクロボスの車窓から眺める太平洋は、近海から黒々としている。海のそばで育った者として、こんなに暗い海は見たことが無かった。ひとたびこの深海に地震が起きれば、湧き上がる津波は凄まじい勢いになるのではと容易に想像できる。裏山が高く人間が高台に到達するのは容易ではない状況だ。津波に対しては最悪の状況に受け取れる。日本に唯一の避難シェルターが必要な環境が揃っていると感じた。シェルターの構造は近代構造物の粋を集めた堅牢で機能的で、情報収集にも配慮され、外部の



室戸市佐喜浜町都呂津津波避難シェルター

状況が映像で捉えられる近代的なものであった。また視察の最重要な1点として最後の扉はどのように閉まるのかを現地で確かめることができた。扉は3重構造になっていて、外部から1番目の扉は防犯用の扉で、止水扉は外部から1番目はロックがなく手動で開閉ができ、2番目の止水扉は口ツクがあり堅牢な構造であった。シェルターに最後にたどり着いた人は手動で開閉する止水扉（2枚の扉間隔が2、5M）で救われる構造であり万全だと感じた。費用は約3億円、ほかにも高知県土佐市は防災、特に津波に対して避難タワー等、現在も多くの設備を整備していた。

## 「津波避難シェルターを視察して」高知県室戸市

総務産業建設常任委員会 市濱 等委員



# 決算特別委員会報告

9月定例会議において設置した決算特別委員会は6名の委員が選出されており、付託された認定第1号から認定第13号までの13件を10月20日から28日の日程で慎重に審査した。その結果、同委員会の南正晴委員長より全会一致で原案のとおり認定すべきものとの報告があり、採決では起立全員で原案のとおり認定されました。

■選出された委員 ○委員長 南 正晴 ○副委員長 酒元 法子  
委員 金七 祐太郎 市濱 等 小路 政敏 椿原 安弘

付託された平成27年度各会計決算  
■認定第1号「平成27年度能登町一般会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第2号「平成27年度能登町有線放送特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第3号「平成27年度能登町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第4号「平成27年度能登町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第5号「平成27年度能登町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第6号「平成27年度能登町観光施設特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第7号「平成27年度能登町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第8号「平成27年度能登町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

■認定第9号「平成27年度能登町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第10号「平成27年度能登町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第11号「平成27年度能登町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について」  
■認定第12号「平成27年度能登町水道事業会計決算の認定について」  
■認定第13号「平成27年度能登町病院事業会計決算の認定について」



※決算特別委員会 南正晴委員長

## 決算特別委員長報告（要旨）

本特別委員会に付託された案件は、平成27年度能登町一般会計歳入歳出決算のほか、10特別会計の歳入歳出決算及び2企業会計決算、併せて13件の認定であります。  
これら各会計決算の審査につきましては、去る10月20日から10月28日までの実質4日間の日程で委員会を開催し、決算書、事項別明細書、各種調査書、主要施策の成果説明書、監査委員の審査意見書などに基き、関係課等から説明を聴取し、予算執行が適正かつ効率的に行われたかについて慎重に審査したところであります。

その結果、認定第1号「平成27年度能登町一般会計歳入歳出決算の認定について」から認定第13号「平成27年度能登町病院会計決算の認定について」までの13件について、全会一致をもって原案のとおり認定することに決まりました。

なお、審査の過程において、各委員からの主な意見について、ご報告いたします。  
一、予算不用額については、平成26年度より大幅に増えており、予算管理を適正に行われるよう努められたい。  
一、過年度調定額については、一部、調定もれがあったので、把握するよう努められたい。  
一、町税及び各種受益者負担金等の滞納について、滞納者の実態にに応じて適切な措置を講じるとともに、一層の収納努力を図られたい。  
一、外国人向けの観光パンフレットを作成しているが、英会話の研修等を計画し、人材育成の環境として語学力ある職員育成も検討されたい。  
一、中学校のクラブ活動での移動手段経費については、予算措置がされているが、再確認が必要と思われるので、県教委の方針や保護者の意向を踏まえて移動手段を検討されたい。

# 第7回能登町議会 11月会議

平成28年11月7日に第7回能登町議会11月会議が開かれました。可決された議案は認定13件、条例改正1件、各常任委員会の選任、監査委員の選任についてなどを可決した。

平成28年12月16日に第8回能登町議会12月定例会議で当選された正副議長を含めた新組織は、次のとおり。

<b>新議会組織</b> 議長 向峠 茂人 副議長 酒元 法子 総務産業建設常任委員会 委員長 椿原 安弘 副委員長 市濱 等 委員 國盛 孝昭 酒元 法子 河田 信彰 宮田 勝三	<b>教育厚生常任委員会</b> 委員長 金七祐太郎 副委員長 田端 雄市 委員 小路 政敏 南 正晴 向峠 茂人 鍛冶谷眞一	<b>奥能登広域圏事務組合議会議員</b> 向峠 茂人 宮田 勝三	<b>奥能登クリーン組合議会議員</b> 金七祐太郎 市濱 等 小路 政敏 椿原 安弘 河田 信彰 南 正晴	<b>のと鉄道運営助成基金事務組合議会議員</b> 酒元 法子	<b>監査委員</b> 酒元 法子	<b>広報編集特別委員会</b> 委員長 田端 雄市 副委員長 市濱 等 委員 小路 政敏 酒元 法子 椿原 安弘 鍛冶谷眞一
---	---	---	--	------------------------------------	----------------------	---

※平成29年2月1日現在

○発委第2号  
「能登町議会委員会条例の一部を改正する条例について」は、常任委員会の名称とその所管について、次のように改めました。  
教育民生常任委員会の名称を教育厚生常任委員会に改正するとともに、上下水道課を同常任委員会の所管に改める。  
○議案第85号  
「能登町監査委員の選任について」  
議員のうちから選任する者 酒元 法子  
この議案は、起立全員により原案のとおり同意されました。





# 議案をチェック

## 12月定例会議の議案質疑

平成28年12月定例会議の議案質疑では、5名の議員から質問がありました。主な質疑、答弁は次のとおり。

○市濱等 議員

議案第108号宇出津港水産加工施設（建築）工事の一部変更について、アルミ製建具追加及び電解水生成装置の変更並びに防熱設備工事の変更内容と理由は。

○農林水産課長

アルミ製建具追加については、加工室を広くしたのとレイアウトの変更に伴うものです。次に電解水生成装置の変更については、加工室の拡大に伴い送水箇所を追加したいと指定管理者の意向を受け独立型から集中生成型に変更したものです。

次に防熱設備工事の変更に伴い室内温の著しい差が生じる箇所が増えたため追加であります。

○向峠茂人 議員

柳田植物公園の指定管理者に対して、運営ノウハウの貯蓄があると説明されたが、次回以降に新たな事業者が、申請されても最初からノウハウの部分で差が出るのでは。

○町長

これまでの管理運営に関して問題はなかったというところで、次回以降に新たな業者等の提案については、十分検討させていただきます。

○宮田勝三 議員

町の業者にも参画していただくために解体工事を分割発注した経緯も過去にあります。町管内

のそれなりの資格を持った業者さんに参画してもらうのに指定管理について分離的発注を検討されたか。

○町長

最初に指定管理に出す時に分離ということも協議したが、不都合なこともあるということ、それ以降はまとめての指定管理です。

○榎原安弘 議員

補正予算全体で人事院勧告に基づく増額はいくらか。

○総務課長

今回の増額補正において、給料・手当・共済費・退職手当の組合負担金の一般会計、特別会計、企業会計を含めた総額は1496万1千円であり

田端雄市 議員  
病院費及び社会福祉施設費でいづれも財源が寄付採納によるものの説明を願う。

○健康福祉課長

老人福祉施設の備品購入のために10万円と医療機器の購入のために50万円と名目を指定して寄付採納があり、それぞれの会計に計上しました。

○総務課長

一般的に町が現金・土地・物品の寄付を受ける場合は、寄付者側から申出書を提出いただき、内容を審査したうえで寄付採納を決定しています。

## まち・ひと・しごと

### 創生特別委員会活動

#### 「しごと分科会」

平成28年11月14日に「しごと分科会」は、能都庁舎4階会議室において「一次産業、特に漁業に関する現状」について農林水産課長、課職員1名の説明員の出席を求め開催いたしました。

### 管外視察

テーマは「日本海大和堆での外国船違法操業」の取り締まりについて、特にE・Z排他的経済水域内の外国船違法操業について、農林水産課長より現状の説明を受け、活発な議論の結果、当委員会として、国の関係機関、省庁に対し意見書の提出を特別委員長に要請することに決定し閉会した。ほかに一次産業、仕事に関し多くの意見があり、今後の課題として協議することも、申し合わせた。参加された委員、職員は、次の方々です。

## 教育厚生委員会

金七祐太郎（委員長）  
田端雄市（副委員長）  
小路政敏・南 正晴  
向峠茂人・鍛冶谷眞一

12月7日に委員会を開催し、付託された議案20件を審議し、全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

○ 水道の有収率（漏水に係る）は現在どうなっているか。県下の平均は？

○ 水道は、26年度64・7%、27年度68・7%と4%増になった。県下の平均は91・6%であり、県下で一番悪い数字となっている。

町は、老朽管の更新より、未普及地域への敷設

を重点的に行ってきたため、更新が遅れ、漏水が多い状況がある。また、老朽化した施設の更新にかける財源は限られており、順次、更新していく予定です。

○ 議案「公の施設の指定管理者の指定について」

公社についての指導監督に疑問を持っている。例えば、内浦体育館の人の入れ替わりが激しく、サービスの低下が著しい。

○ 指摘を受けて、指導はしてきた。次年度からは、定期的に、年3〜4回定例会スタッフミーティング、面談など実施、監督していく。

○ 陳情第1号 「介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める陳情書」

陳情第1号については、提出、反対の意見があり、継続審議とした。

## 総務産業建設委員会

榎原安弘（委員長）  
市濱等（副委員長）  
國盛孝昭・酒元法子  
河田信彰・宮田勝三

12月7日に委員会を開催し付託された議案12件を審議。全会一致で採択すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

○ 一般会計等補正予算

社会資本整備交付金が少ない、原因は何か。

○ 全国的に災害が多かったことにより、交付金の振り分けが少なく、要求の50%程度でした。

○ 請負契約の締結について（宇出津港水産物加工施設建築工事）シャッターが、アルミ建具に変

更になっっているが何故か。

HACCP（総合衛生管理製造過程）仕様に対応するためである。

○ 公の施設の指定管理について。柳田植物公園管理がなぜ町内の事業者で管理運営できないのか。

○ 指定管理条例に基づき、さまざまな管理等見受けられた場合公募する。分割管理については、公園管理とレストラン管理の線引きが難しい。利用者のサービスを大事にしたい。

○ 宿泊施設等多くの施設を町長名で指定するが、指定を受ける側も持木一茂名だ、違和感がある。以前優秀な人材があれば交代すると言った記憶があるが。

能登町長の権限で一部委任に関する規則が有り又、民法でも第108条双方代理の禁止条項があり、この部分に関して町長は副町長に権限を委任し契約している。

### 報告 総務課

金沢大学から、石川県の地域特性沿岸海域を生かした、海洋生物資源に関する教育を充実させたという観点から、能登町に協力要請があった。来年度あたり予算化を進めたい。

## 10月から12月の主な議会活動

- 10月5日 全員協議会 第6回能登町議会10月会議
- 10月12日 総務産業建設常任委員会管外視察研修（～14日）高知県・東京都
- 10月13日 石川県町村議会議長会臨時総会（地場産業センター）
- 10月19日 広報編集特別委員会
- 10月20日 決算特別委員会（～28日）
- 10月25日 教育民生常任委員会管外視察研修（～27日）徳島県
- 10月29日 流山市民まつり（～30日）
- 11月7日 議会運営委員会 全員協議会 第7回能登町議会11月会議
- 11月8日 議長全国大会（～9日）
- 11月10日 能登地区町議会視察研修 長野県
- 11月14日 まち・ひと・しごと創生特別委員会しごと分科会
- 11月22日 石川県町村議会議長会協議会（県社会福祉会館）
- 11月28日 議会運営委員会
- 12月2日 全員協議会
- 12月6日 第8回能登町議会12月定例会議（議案上程）
- 12月7日 常任委員会
- 12月12日 第8回能登町議会12月定例会議（一般質問）
- 12月12日 総務産業建設常任委員会
- 12月16日 第8回能登町議会12月定例会議（採決）
- 12月16日 全員協議会
- 12月21日 全員協議会

## 次の定例会議は3月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。  
ぜひ傍聴にお越しください。議場が平成27年3月より能都庁舎に変わっております。ご意見など  
ありましたら、下記事務局へご連絡ください。

### 編集後記

この春、県水産総合センターに隣接する宇出津新港に、水揚げされた魚介類を冷凍・冷蔵保管する施設がオープンする。能登の産業の起爆剤となるか期待は大きい。

我々も常に政治の鮮度を保持し、時代に合った加工を重ね、町民のニーズに添えていきたい。

委員 小路 政敏

### 広報編集 特別委員会

委員長 田端 雄市  
副委員長 市濱 等  
委員 小路 政敏  
酒元 法子  
椿原 安弘  
鍛冶谷眞一